

## 施策4 ささえあおう！健やかなまち（8事業）

13,615千円（R3年度15,056千円）

1 泉わくわくプラン推進事業 福祉保健課	R4予算額	R3予算額
	1,586千円	2,951千円

地域の課題を地域で解決し、地域の支え合いによって誰もが安心して暮らせるまちを目指す「泉わくわくプラン（第4期泉区地域福祉保健計画）」について、区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、関係機関等と協働して、具体的な取組を進めます。

### (1) 計画の推進（576）

地域共生社会の実現のため、泉区の福祉・保健・医療・地域・行政等の連携強化等を目的とした地域福祉保健推進協議会を開催します。また、分科会として地域福祉保健計画策定・推進検討会を開催し、策定した計画の推進・振り返りを行います。

### (2) 計画の周知・啓発（1,010）

泉わくわくプランについて、より多くの区民に知ってもらい、地域の様々な取組に参画してもらうため、イベントの開催等を通じて区民に対する周知・啓発を進めます。なお、毎年2月を推進月間と位置づけ、重点的に取り組みます。

## コラム④ ～毎年2月は「泉わくわくプラン推進月間」です～

令和3年8月に策定した泉わくわくプラン（第4期地域福祉保健計画）について、今後は毎年2月を「推進月間」と位置づけ、重点的な周知・啓発に取り組みます。

今年度は、12地区と関係団体等の活動内容をパネル展示等で紹介する「泉わくわくプラン推進イベント」を、来庁者にとって分かりやすい動画等も活用しながら引き続き開催します。また、プロモーション動画のバス車内での放映や、区役所の庁用車やごみ収集車、地域ケアプラザの車両等にPR用マグネットステッカーを貼り付けて泉区内を走行します。このように、様々な機会・媒体を活用して、区民の皆様の目に触れる機会を増やすことで、地域の様々な取組に関心をもっていただくためのきっかけづくりを進めていきます。



泉わくわくプラン  
推進キャラクター  
いずちゃん



推進イベント



プロモーション動画



マグネットステッカー



2 泉区地域包括ケア推進事業 <b>重点</b>	R 4 予算額	R 3 予算額
	2, 076千円	1, 535千円

高齢・障害支援課

急激な人口構造の変化に対応するため、2025年に向けて医療・介護、介護予防・生活支援等を一体的に提供できるよう横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた「泉区アクションプラン」に基づき関係機関と連携しながら各事業を推進します。

(1) 地域包括ケア普及啓発事業 (1, 306) **拡充**

泉区アクションプランの推進のため、普及啓発にかかる啓発物品の作成や人材育成に向けた研修等を実施します。また、泉サポートプロジェクトと連携し、多様な主体による生活支援に関わるサービスの創出につなげます。

○ 地域包括ケア推進事業【健康福祉局区配】

地域包括ケアシステムの構築に向けて、泉区アクションプランの推進に向けた取組を行います。

(2) 認知症等地域支援事業 (550)

地域全体に認知症への理解を広げるため、支援者向けにVR機器を用いた研修を実施し、認知症当事者の視点の理解・主体的な意識醸成に繋がります。また、地域ケアプラザ等の地域単位での研修実施により、より身近な支援者との継続的な関係構築を支援します。

○ 認知症支援事業【健康福祉局区配】

認知症になっても、周囲の理解や見守り、家族を支えることにより、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症に関する普及啓発、相談、緊急対応事業を行います。

○ 地域づくり型介護予防事業【健康福祉局区配】

元気なうちから介護予防に取り組む地域づくりを目指し、講演会や広報等による啓発活動を実施します。また、地域で高齢者の自主的な介護予防活動が継続的に行われるよう、地域の人材育成や関係機関との連携を図り活動を支援します。

(3) 多職種のための情報連携支援事業 (80)

高齢者が安心して在宅療養ができるよう、医療・介護関係者に必要な情報をお薬手帳と一緒に持ち歩ける情報共有ツール「私のおぼえがき」について普及啓発を進めます。

(4) 緊急時の支援 (90)

親族からの支援が望めない高齢者等の緊急入院・入所の際の移送費や日用品の確保、支給を行います。

(5) 高齢者社会参加支援 (50)

老人クラブ活動の活性化や交流を促進するため、功労者表彰等を支援します。

## コラム⑤ ～認知症をVR（バーチャルリアリティ）で体験～

当事者の方の気持ちを、自分ごととして考えられる方を育てることで、見守り・気づきの意識が広がる温かい地域社会の醸成を目指し、「認知症VR研修」を実施しました。

＜VR 認知症研修の様子（令和3年11月17日）＞



### 【実施効果】

区内キャラバン・メイトをはじめ、郵便局、鉄道、消防、地域ケアプラザなどの地域関係機関から43名の方に参加いただきました。当事者視点と関係機関連携の重要性について実感いただき、実施後のアンケートでは、全ての項目において肯定的な意見となりました。

～参加者の声～

◆ご本人の気持ちを自分ごととしてリアルに体感できました。貴重な体験を、地域に伝えていきます。

◆キャラバン・メイトとして長く活動してきましたが、当事者視点で考える大切さを強く感じました。

◆「認知症」という言葉で括らず、困っている様子の方を見かけたら声をかける、ということから始めてみます。

研修実施後は、認知症サポーター、キャラバン・メイトなどの地域の新しい担い手として活躍いただくことを視野に、地域ケアプラザとのさらなる連携を図ります。

### 今後の取り組み

- 区民向けの認知症VR研修を、令和4年3月に実施予定です。
- 令和4年度は、支援者向けの研修を継続し、認知症当事者の視点の理解・主体的な意識醸成に繋がります。また、地域ケアプラザ等の地域単位での研修実施により、より身近な支援者との継続的な関係構築を支援します。

## ○ 在宅医療連携拠点事業【医療局事業】

市民が安心して在宅医療・介護を受けられるよう、区医師会と協力して在宅医療連携拠点を運営します。患者家族や病院からの相談業務のほか、在宅医療に関する市民向け講演会、医師向け研修を行います。

3 健康づくり活動支援事業 福祉保健課	R4 予算額 2,458千円	R3 予算額 2,610千円
<p>運動習慣の定着、食習慣の改善を目的に、保健活動推進員や食生活等改善推進員、関係機関と連携して健康づくりの活動を支援するとともに、活動を通じて、健康に対する意識向上や地域での仲間づくりなどを進めます。また、がんの予防及び検診の啓発に取り組みます。</p>		
<p>(1) 健康づくり推進事業（63） 働き・子育て世代などを対象に、生活習慣病予防のための運動、食事における栄養、歯科予防、健康チェック等を取り入れた健康づくり講座を参加しやすい日時で実施します。</p>		
<p>(2) 食習慣の改善事業（554） ア 生活習慣病の予防のための食事相談を行います。 イ 食生活等改善推進委員会の協力を得ながら、食生活改善講習会等を開催します。</p>		
<p>(3) がん検診啓発事業（40） 働き・子育て世代から高齢者を対象に、健康づくりイベントや地域のイベント等において、様々ながんの予防及び検診の啓発を実施します。</p>		
<p>(4) 乳幼児健診時の保護者への健康づくり事業（1,381） ア 4か月健診の保護者等を対象に、自身の口腔ケアとむし歯菌の母子感染予防を目的に、個別相談・指導を実施します。 イ 3歳児健診の保護者等を対象に、自身の食生活改善相談や骨密度測定を実施します。 ウ 3歳児健診の母子等を対象に、乳がんの自己触診方法の体験や乳がん、子宮がん等の予防及び検診の啓発を行います。</p>		
<p>(5) 生活習慣改善啓発事業（420） ア 生活習慣病予防をテーマに保健活動推進員会、食生活等改善推進員会等と連携し、相談・健康測定・パネル展示等によるイベントを実施します。また、動画やウェブ配信等を活用した啓発を行います。 イ 区庁舎1階に常設している健康づくり情報コーナー「チョコット立ち寄り健康チェック」で時季やトピックスにあわせた健康づくり情報の展示と啓発を行います。</p>		
<p>○ 健康横浜 21 推進事業【健康福祉局区配】 健康増進計画である健康横浜 21 に基づき、受動喫煙防止の啓発強化、糖尿病の重症化予防及び生活習慣の改善の取組、歯科口腔保健関係事業を行うとともに、がん検診・特定健診の普及を進めます。</p>		

○ **地域で活動する健康づくり団体への支援【健康福祉局区配】**

- ・保健活動推進員や食生活等改善推進員（ヘルスマイト）に対して、活動をサポートしながら共同して区の健康づくり事業や地域イベントでの健康啓発を実施します。
- ・食生活等改善推進員養成講座において、地域活動に向けたリーダー育成を実施します。

○ **感染症対策事業【健康福祉局区配】**

- ・区内の感染症患者及び家族に対する支援及び接触者健診の実施や、区内の学校・施設等で感染性胃腸炎などが発生した際に感染拡大防止のための保健指導等を行います。
- ・高齢・障害施設や保育所等の福祉施設で感染が発生した際に適切な対応ができるよう、施設向け研修会を開催します

4 障害児・者社会参加促進支援事業	R4 予算額	R3 予算額
高齢・障害支援課	1, 154千円	1, 381千円
<p>障害の有無にかかわらず、障害児・者が地域で安心して生活できる地域社会の構築に向けて、当事者・地域・自立支援協議会与行政が協働して取り組み、障害児・者や難病患者への理解を深め、社会参加促進を支援します。</p> <p>(1) <b>泉ふれあいシールラリー（944）</b>            区民の障害理解の推進を目的に、区内の障害福祉事業所を巡るシールラリーを開催します。障害のある方が日頃活動している区内の事業所に実際に足を運んでいただくことで、障害当事者と地域の方との交流の機会とし、障害への理解を深めます。</p> <p>(2) <b>自主製品等販売活動支援事業（170）</b>            ア 区総合庁舎区民ホールにおける区内障害者福祉事業所の自主製品販売活動を支援します。            イ 横浜市営地下鉄戸塚駅構内における区内障害福祉事業所による泉区産農作物等の販売活動を支援します。            ウ 横浜市営地下鉄立場駅構内における区内障害福祉事業所による自主製品等の販売活動を支援します。</p> <p>(3) <b>難病支援（40）</b>            難病患者とその家族を対象とする交流会の開催を支援します。</p>		

○ **松風学園再整備事業【健康福祉局事業】**

入居者の居住環境改善のため、新居住棟の建設工事を進めています。また、同園敷地に整備された民設新入所施設が開所します。

5 いずみっこ子育て支援事業	R4 予算額	R3 予算額
こども家庭支援課	1, 859千円	1, 979千円
<p>子育てに必要な知識や情報が的確に届くことで、養育者が必要なサービスを活用しながら安心して育児が行えるよう支援します。</p>		
<p>(1) 乳幼児健診等保育サポート事業（154）</p>		
<p>乳幼児健診等の会場に保育ボランティアを配置し、複数の子どもを連れた養育者に対して、安心して健診を受けていただけるよう子どもの見守りを行います。</p>		
<p>(2) パパ・ママ子育て支援事業（1, 137）<b>拡充</b></p>		
<p>ア いいKAGENな子育てプレクラス</p>		
<p>初めての出産・育児を控えた参加者が、安心して出産・子育てを行うために必要な知識や沐浴などを学べるよう、実践を交えた教室を開催します。</p>		
<p>また、定員超過や新型コロナウイルス感染症の影響により会場で受講できない方への対応として、オンライン指導を実施します。</p>		
<p>妊婦編：妊婦の健康づくりと出産に向けた呼吸法、妊婦疑似体験、「親になる心構えについてのワークプログラム」講義を実施します。</p>		
<p>産後編：妊娠期からの切れ目のない支援として、育児不安等への相談や参加者同士が育児状況の共有を行います。また、妊婦編参加者とのふれあいの時間を設け育児のイメージ化を図ります。</p>		
<p>本教室で活用するワークプログラムの効果を判定するため、事業アドバイザーを依頼します。</p>		
<p>イ 赤ちゃん教室</p>		
<p>初めての育児を行う養育者を対象に、育児相談や健康教育（離乳食・虫歯予防、事故予防等）、仲間づくりをすすめ、地域の子育て支援につなげます。地域住民が運営協力者として従事し、地域の見守り活動の充実を図ります。</p>		
<p>(3) 子育て支援情報提供事業（568）</p>		
<p>ア ウェブサイトでの子育て情報の発信</p>		
<p>泉区のプロモーションサイトである「いずみくらし」及び泉区役所のホームページ内の子育て支援情報を充実させ、行政サービスや地域の子育て情報をリアルタイムで発信します。また、母子手帳交付時に上記サイトの案内チラシを作成し配布します。</p>		
<p>イ 子育てガイドブックの印刷</p>		
<p>地域子育て支援拠点との協働で作成する子育てに関するガイドブックを「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の対象者分を印刷し配布します。</p>		
<p>ウ こども家庭総合支援拠点開設に伴う情報提供・発信の強化</p>		
<p>こども家庭支援課の窓口業務及び専門職の家庭訪問等でタブレット機器を活用した情報提供・発信を行います。</p>		

6 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援充実事業 <b>重点</b> こども家庭支援課	R4 予算額 1, 846千円	R3 予算額 2, 266千円
<p>子どもと養育者が安心して生活するため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を充実し、児童虐待の予防から発生時の迅速な対応と、DV相談等への的確な支援ができる仕組みを構築します。</p>		
<p>(1) 子ども虐待予防事業（1, 198）</p>		
<p>ア 社会福祉職による専門相談</p>		
<p>児童虐待の予防的な介入を目的に、養育者に対し子どもの特性に応じた相談体制を構築し、適切な社会資源を利用に導くため、社会福祉職による専門相談を実施します。ひとり親の相談も増加傾向にあるため、合わせて相談に応じます。</p>		
<p>イ エリア別要保護児童対策地域協議会</p>		
<p>児童虐待の早期発見、迅速かつ的確な対応のため、保育所や小・中学校、民生委員・児童委員等を対象に、地域ケアプラザエリア単位での連携した見守り強化を目指し、要保護児童対策地域協議会を4地区で開催します。</p>		
<p>(2) 地域の子育て支援力向上事業（648） <b>拡充</b></p>		
<p>ア PR動画作成、グッズ配布</p>		
<p>子育て世代が地域に見守られ、孤立せずに子育てができる地域づくりの推進を目指し、「子育て応援サポーター」や「子育て応援グッズ」等を動画にて啓発し、子育て支援に参画する住民を増やします。合わせて子育て応援グッズを広く区民に配布します。</p>		
<p>イ 子育て支援活動ヒント集作成・活動者向け研修</p>		
<p>子育て支援の活動を充実させるため、子育て支援活動ヒント集を作成し、地域の活動団体やボランティア等へ配布します。また、子育て応援サポーターの研修会を地域子育て支援拠点と協働で開催し、サポーターの増員、活動の拡充を図ります。</p>		

○ こども家庭総合支援拠点の整備【こども青少年局区配】

こども家庭支援課に、児童福祉法に基づくこども家庭総合支援拠点機能を整備し、要保護児童等の支援が必要な子ども・家庭への支援を強化します。さらに、子ども及び妊産婦の福祉・保健に関する様々な相談に、専門職が電話・面接による「こども家庭相談」を行います。泉区では令和4年度から運用を開始します。

7 保育施設・幼稚園等との協働による子育て支援推進事業 こども家庭支援課	R 4 予算額	R 3 予算額
		1, 3 6 9 千円
<p>保育施設・幼稚園等と協働して情報発信を行うとともに、地域子育て支援を進めます。 また、保育ニーズへの丁寧な対応や関係者の協力により事業を進めることで待機児童ゼロの継続につなげていきます。</p> <p>(1) 保育施設・幼稚園協働による保育施設PR事業（355） 保育施設・幼稚園・地域子育て支援拠点と協働し、区内育児支援情報の提供と、保育施設・幼稚園の紹介や説明会、離乳食相談、保育・教育コンシェルジュによる保育相談等を行うイベント「いずみっこひろば」を開催します。</p> <p>(2) 保育園地域支援事業（258） ア 市立和泉保育園において子育て世帯を対象に親子の居場所を提供し、その中で参加者向けに育児講座を行います。 イ 保育園が地域に開かれ、地域の中高齢者と園児や地域の親子が遊びを通して交流します。中高生等と園児が触れ合い、将来の虐待防止や保育士の仕事にも興味を持つようつなげます。</p> <p>(3) 職場復帰講座（96） 育児休業等から職場復帰を希望する子育て家庭向けに、復帰する際に直面する課題や解決方法等について講座を開催します。</p> <p>(4) 保育サービス等の情報発信事業（660） 保育施設・幼稚園紹介のウェブサイトや冊子で様々な情報を発信するとともに、保育・教育コンシェルジュによる出張相談等を行い、多様な保育ニーズに対応します。</p>		

8 民生委員・児童委員活動支援事業 <b>新規</b> 福祉保健課	R 4 予算額	R 3 予算額
		1, 2 6 7 千円
<p>地域住民の身近な相談役、見守り役を果たす民生委員・児童委員の活動を支援するとともに、民生委員・児童委員、主任児童委員の担い手の確保に取り組みます。</p> <p>(1) 退任式典等開催事業（367） 民生委員・児童委員及び主任児童委員の一斉改選により任期を終えた委員の退任式等を開催します。</p> <p>(2) 担当区域地図更新事業（600） 民生委員・児童委員が見守り活動などで地域住民宅を訪問する際に使用する担当エリア地図を更新します。</p> <p>(3) 民生委員ホームページ維持管理事業（300） 民生委員・児童委員活動の事例紹介や情報共有などを目的に活用している外部サイトのホームページの維持・管理委託を行います。</p>		



○ **生活保護事業【健康福祉局区配・局事業】**

生活保護法に基づいた、被保護者に対する生活保護費の支給を行います。

○ **生活困窮者自立支援事業【健康福祉局区配・局事業】**

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前の段階から自立に向けた包括的な相談支援を実施します。

○ **寄り添い型生活・学習支援事業【こども青少年局・健康福祉局区配】**

生活保護世帯及び経済的困窮状態にある世帯の小中学生に対する生活・学習支援を実施します。また、高校に行っていない子どもを含めた高校生世代に対し、将来の選択肢の幅を広げるための情報提供等の支援を実施します。

- ・生活支援事業：小中学生を対象に、区内1か所で実施（利用者1人あたり週2回）
- ・学習支援事業：高校進学を希望する中学生及び高校生世代を対象に、区内2か所で実施（利用者1人あたり週2回）

○ **就労困難な若者の社会参加促進事業【健康福祉局区配】**

不登校やひきこもり等の経験をもつ就労困難な生活保護受給中の若者及び生活困窮の若者を対象に、個別相談及び地域の社会資源を活用した社会参加促進プログラム事業を実施します。